

## 祝詞

## 盟友よ誇りを抱いて立ち上がれ



全日本学生レスリング連盟

会長 松原 正之

日本大学教授

日本大学レスリング部・部長

関西大学レスリング部創立50周年を衷心より御祝詞申し上げます。年月は光陰矢の如く移り過ぎても、また人々は代々変わっても、関西大学レスリング部創立の時より、斯道発展の時々刻々は、半世紀の長きにわたって続いています。実に尊いことであると、感慨の深いものがあります。

先年、私の母校、日本大学も50周年を迎えたばかりでした。関西大学とは不思議にご縁があって、私が日本大学に入学した頃は、関西大学との定期戦を行っていきまして、大阪や東京の試合でお互いに切磋琢磨しつつ、さらに親睦をかさねてまいりました。大阪での試合の帰りには、その都度に松井清さん（故人）から、車中で飲んで行けと、懇親会での余り「酒」を一升ビンに詰めて「肴」ともどもに差し入れていただき、夜汽車で先輩たちと杯をかさねるうちに東京に着いたことが、時代相を照らして懐かしく思い出されます。昭和30年代前半の食生活も貧しかった頃のことでした。

振り返れば、私の高校生時代に、関西大学の雄フライ級の横山勝利さんの全米選手権大会やユニバシアード大会での活躍は、強烈な印象としていまだに鮮明に想起されます。その影響があつてのことか、関西大学の軽量級の強さは伝統的に受け継がれていて、私たちの時代には、市口政光君、

伴義孝君、山本定夫君と錚々たるメンバーでした。特に市口君とは、彼の1年生のとき定期戦で一度対戦したこともあって、やっとの思いで私の勝利に終わったものの、聞けばレスリングを始めて間もないとのことで、その大器振りに驚かされたものです。後年、市口君は、ローマと、東京と、両オリンピック大会での活躍で関西大学レスリング部に栄光をもたらしたことは周知のことです。

このように関西のレスリング界の王者として、西日本リーグをリードしながら、数多くの名選手を生み出してきた関西大学レスリング部であります。時代は波に押し止められることとなります。関東では昭和40年代当初から吹き荒れて、劫火のように広まった、政治的な陰鬱を背負った、あの大学紛争で、大学スポーツは甚大な痛手を負いました。日本大学では体育会が解体され、各運動部は低迷をかこってきました。関西にも飛び火して、わが盟友関西大学も破格の打撃を被りました。

この学生スポーツの不遇の時代から脱皮してかつて臥薪嘗胆のご苦勞をなされた先達諸氏のためにも立ち直らなければなりません。半世紀の足跡をバネにして、名門関西大学レスリング部の復活のために、誇りをもって頑張ってください。そして一層のご発展を祈念いたしております。